

「サイバー社会」構築の課題と政策

『わが国のインターネット政策』

本書はインターネットに関する政策の現状を報告している。

第1部は、郵政省によるコンピュータ通信政策の9つの課題 - ①ポルノ対策、②プライバシー/利用者保護、③知的財産の保護、④公共システムの開発、⑤電子取引の普及、⑥認証機関の育成、⑦(インフラ)料金の低廉化、⑧アクセス回線の高速化、⑨セキュリティ - の向上をうたい、遂行上の5つの留意点 - ①技術革新の速度、②市場原理の活用、③研究開発の強化、④社会的弱者保護、⑤国際的な整合性 - とともに解説する。

第2部以降は、ネットワークを通じた認証業務のあり方に関する調査研究会や情報通信ネットワークの安全・信頼性に関する研究会、ネットワークの高度化・多様化に関する懇談会という3つの分会での報告書を掲載している。各国が法制化を進める中、日本はかなり後手に回っ

ていることがよくわかる。また、xDSLを実現するインフラが海外と異なるために、海外の技術をそのまま日本に導入しづらい現状がわかりやすく解説されている。

だが、本人認証方法などがどのように実現されるかは、本書を読んでもまだわからない。印鑑証明を申請するときのように役所で仏頂面した担当者に今後もお願いしなければならぬのかなと思ったり、憂鬱になってきた。

インターネット政策
研究会 編
郵政省電気通信局 監修
クリエイト・クルーズ 発行
244ページ
本体2190円 + 税
ISBN4-906470-20-3



わが国のコンピュータ通信政策

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

ネットサーフィン快適化の手助け

『サーチエンジン徹底活用術』

いで悩んでいる人はぜひ読んでみるとよい。もちろん、欲しい情報は何となくそれなりに検索できてしまうのだが、もっと効率のよい方法を見つけないという人も読んでみるべし。

サーチエンジンに自分のホームページを登録する方法についても記述されている。そのなかで、「spamdexing」という問題について取り上げている。キーワードで全文検索をさせたら、そのキーワードがページに見当たらないのに、検索の優先順位が高いホームページに出会ったことはあるだろう。それがspamdexingされたページだ。サーチエンジンの検索で自分のページを必要以上に表示させるための仕掛けで、HTMLでキーワードをいくつも埋め込んでおく卑怯な方法だ。spamdexingとはspamとindexingの合成語であるが、名前から推測されるとおり、嫌なものだ。

サーチエンジンを使いこなす者がいれば、裏をかくて新たなspamを流し出す輩もいる。賢く検索して、spamdexingに振り回されないようにしたい。



原田昌紀 著
オーム社 発行
250ページ
本体1900円 + 税
ISBN4-274-06230-9

本書はインターネット活用の友であるサーチエンジンを賢く使うための本である。

上手な論理演算をさせる方法や適切なキーワードの選び方などといった検索方法の基礎知識から、国内・海外主要サーチエンジンの解説やサーチエンジン別のケーススタディーのほか、サーチエンジン以外の方法で情報を検索したり、サーチエンジンを支えるロボット技術の解説をしたりと、盛りだくさんの内容となっている。

いつも欲しい情報までたどり着かな

パソコンと付き合うためのヒント集

『パソコンにほおずりしたくなるアーゴの法則』

ベストセラーとなった「マーフィーの法則」以来、名前の法則と付く本が多い。この本もその中の1つといっていよいよ、パソコン生活の中で見出された法則的な事柄をフレーズにして解説する。

マーフィーは生活の中で見つかる法則を扱い、コミックで綴るディルパートは仕事場での法則を扱った。本書では、パソコンと付き合った(向き合った)ときの法則が中心である。

確かに、パソコン長老の経験にもとづく集大成がそこにある。フムフムと感心する内容もちりばめられ、パソコン歴5年未満の中級者なら、ありがたく拝聴するに値する。本書

で紹介される419の法則は、巻末に一覧表示されている。これなら、5分ほどで読むことができるだろう。では、本文はというと、法則が大きな文字で書かれて、イラストがあって...、ほとんど巻末と変わらない。10部構成で各部の初めに文章が追加されているものの、法則を解説する箇所が少ない。何か損したような構成だ。

さらに、法則は著者のホームページで公開されているとある。ここではURLを書かないので、本書を買って確認するよう



吉村昭三 著
明日香出版社 発行
235ページ
本体1000円 + 税
ISBN4-7569-0082-8

ネットワークサービス技術と開発エピソード

『コミュニケーション・ネットワーク 技術開発の現場から』

電電公社（現NTT）の元技術者がネットワークについて語った本。「技術開発の現場から」の副題どおり、数々のネットワークサービスを生み出していった現場にいた筆者が、ネットワークに関するよもやま話をしている。この筆者は、最新技術ではないが、キャッチホン、フリーダイヤル、ダイヤルQ2、伝言ダイヤルなどの名だたるサービスを産んだころの技術者である。理路整然とネットワークを解説する本ではなく、話があちらこちらに飛びながら進んでいく。面白いエピソードも盛り込まれながら、ネットワークの概論が展開される。

たとえば、インフラを作るネットワーク屋といえる人たちは、1990年代前半になってもインターネットの信頼性は低く、セキュリティも不十分でネットワークサービスの品格を備えていなかったと認識していたそうである。80年代に学生や若い社会人

がほぼゲリラ的に、世界同時多発的に作り上げていったネットワークを、プロたちはこう見ていたわけだ。素人ネットの寄せ集めと見た場合、当然といえば当然の評価なのだけれども、爆発的普及は予想外だったろう。そのうえ今日では、プロも真剣にビジネスをしようとして乗り込んできている。インターネットを作り上げていった人々には痛快的な逆転劇がここにある。

また、電話網の制御にコンピュータを使ったインテリジェントネットワーク技術を採用した最初のサービス、フリーダイヤルの頃のエピソードも面白い。フランス大使館で会った女性に仕事を手伝ってくれと頼まれて、仕事場となる古い日本家屋へ行ってみると、そこではフリーダイヤルの調査が行われていた。これが、コミュニケーションとどうつながるかは、読んではからのお楽しみだ。

最新技術のxDSLなどについては触れられていないが、光ファイバ一までなら理解しやすく書かれている。



JNEWS 井指 賢 / SOHOギルド編
クラブハウス 発行
247ページ
本体1300円＋税
ISBN4-906496-10-5

実践者によるSOHOガイドブック

『SOHO独立開業 ビジネスの素134』

昨今「SOHO」というキーワードを知る人は多い。SOHO環境構築の特集もコンピュータやネットワークの専門誌を中心に取り上げられている。

しかし、SOHOという形態で行われる仕事の内容がどんなものかと想像しても、まったくイメージが湧かない。そんな人は少なくないはずだ。日々働くビジネスマンも、店舗販売のビジネスを自分でやろうとした場合、どのようにやるかと想像するのは簡単だが、店舗を持たずにビジネスを展開するSOHOは、身近に接する機会が少ないから、わからないのも当然のことだろう。

本書ではSOHOの実践者やSOHO支援ネットワークの主宰者がSOHOについて解説している。第1章では、実際に行われてい

る事例を通してどんな仕事が含まれているかを知ることができよう。ここはビジネスヒントとして独立開業を目指す人の職種ガイドブックになっており、ペットレンタルや車検代行など、インターネットにかかわらず展開できるSOHO全般をも網羅している。確かにSmall OfficeやHome Officeを言葉どおりに受け取れば、ネットワークに依存する必要などまったくない。

第2章は、インターネットビジネスに絞ったビジネスヒントが続く。後半の第3章では「事業計画書の書き方」から「クーリング・オフの必要知識」までの役立つ各種情報を、第4章では経営戦略に突っ込んで「倒産を防ぐノウハウとは」に進む。

SOHOを目指す人向きであることはもちろん、ネットワークを使わない独立経営をより理解しようとするときに役に立つ本である。

CD-EXTRA付き書籍で綴る坂本龍一の20年

『DECODE 20』

かつてシンセサイザー音楽といえば、富田勲やジャン・ミッシェル・ジャールだった。ある日、海外でのライブに成功を収めた日本のバンドを紹介するTVのニュースを見た。人民服に身を包んだ不思議な東洋人の3人組が出す音はとっても新鮮で心地よい音だった。これが、イエロー・マジック・オーケストラとの出会いである。すぐにアルバムを買って聴いた。当時はまだテクノとは言われてなかった。その後テクノバンドが増えてきたころ、なんだか気恥ずかしくなって聴くのをやめた。

YMOも解散し、聴くこともなくなったが、バラエティ番組や映画音楽、TVやFMのCMでと、何かのたびに気になる存在、それが坂本龍一だった。

この本は、彼のデビュー20周年企画で作られた冊子とCD-EXTRAのメディアミックスである。冊子には、坂本龍一

が撮影した写真を背景に261のインタビュー、2つの対談を掲載している。

CD-EXTRAにはCDプレーヤーで再生可能な5曲（97年「f」ツアー未発表音源）の映画音楽やCM楽曲がミニアルバム感じでまとまっている。さらに、よくできたデジタルコンテンツ（マッキントッシュ、ウィンドウズ両対応）が含まれている。まず彼の写真や語録が次々と現れ、さらに入力欄にキーワードを書き込むと関連する話題へと進んでいく。あたかも彼と直接対話しているかのような感覚だ。

改めて、坂本龍一を知る。そして、自分が隠れファンであったことに気づく。ファンだけでなく、彼が気になる人はぜひこのメディアに挑んでほしい。良くも悪くも坂本龍一を深く知ることができるだろう。



坂本龍一 著
インプレス 発行
本体4800円＋税
ISBN4-8443-4851-5

【インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ】 ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp